



雲南

うん

なん



# 謹賀新年

掛合町元旦マラソン

## 令和元年 12月定例会

|                     |    |
|---------------------|----|
| ● 議長あいさつ            | 2  |
| ● 12月定例会報告          | 3  |
| ● 主な歳出補正予算／議案の審査と結果 | 4  |
| ● 意見書／採決結果          | 5  |
| ● 委員会報告             | 6  |
| ● 一般質問              | 8  |
| ● 視察報告              | 13 |
| ● 視察報告／議会改革について     | 14 |
| ● 中学生本会議傍聴記         | 15 |
| ● 議会と語ろう会／編集後記      | 16 |

# 年頭のあいさつ



雲南市議会

議長 山崎 正幸



明けましておめでとうございます。  
市民の皆様には、希望に満ちた令和2年の新春をお健やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年、わが国では、5月に皇太子が第126代天皇にご即位され、元号が令和に改元されました。令和の時代が、世界平和の実現と日本の繁栄をもたらすよう期待しています。

10月には、台風19号の上陸により、関東地方等を中心に広域にわたり甚大な被害をもたらし、多くの方々被災さ

れました。改めて心からお見舞いを申し上げますと、一日も早い復興をお祈りいたします。

今年は東京オリンピック・パラリンピックの年であり、大会に出場される選手の皆様のご活躍と大会の成功を念願するものであります。

昨年、雲南市においては、雲南市立病院のグランドオープン、また、雲南市中央学校給食センター、国民宿舎清風荘、コトリエット等がオープンしました。

これらの施設を活かした取り組みが、本市の目指す人口

の社会増に向けたまちづくりの基盤となるよう大いに期待します。

雲南市議会では、議会改革の一環として、昨年9月議会からタブレットを導入しました。議会活動に活かし、議会の活性化と権能強化に向けて、責任ある役割を果たしていく所存であります。

雲南市の飛躍を願い、皆様にとって健やかで実り多い年となりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。

## 一般会計

9億5,057万円の  
補正予算を可決

(補正後総額 313億6,956万円)

● 小学校教師用指導書・準拠教材  
整備事業 (教師用教科書・指導書)



4,223万円

● 林地崩壊防止事業 (畑鶴地区)



600万円

● 明石緑が丘公園管理事業  
(乗用芝管理機械更新)



307万円

令和元年12月定例会を12月6日から20日までの会期で行いました。令和元年度12月補正予算13件、条例など21件、同意案件5件が上程され、慎重に審議した結果、全議案とも原案通り可決しました。

また、議員発議1件の意見書を県に対して提出しました。

● 菅谷たたら山内保存修理事業  
(三軒長屋保存修理工事費追加)



2,500万円

# 令和元年12月 主な歳出補正予算（一般会計）

（単位：千円）

| 事業名                  | 内容                            | 補正額    | 補正後の額   | 備考 |
|----------------------|-------------------------------|--------|---------|----|
| 21世紀出雲空港整備利用促進協議会負担金 | FDA 神戸線の新規就航に伴う利用促進事業の負担金     | 296    | 1,979   |    |
| 適正実施推進事業             | 生活保護制度の改正に伴うシステムパッケージの購入      | 1,164  | 6,807   |    |
| 加茂こども園運営事業           | 食物アレルギー児対応職員及び土曜日対応職員の増       | 1,373  | 59,535  |    |
| 小学校特別支援学級設置事業        | 令和2年度、市内3校の学級新設に係る施設改修及び備品整備費 | 3,702  | 3,702   | 新規 |
| 中学校特別支援学級設置事業        | 令和2年度、市内2校の学級新設に係る施設改修及び備品整備費 | 4,887  | 4,887   | 新規 |
| 農地集積・集約化対策事業補助金      | 吉田町民谷地区等に係る地域集積協力金等補助金の増      | 10,910 | 16,410  |    |
| 有害鳥獣捕獲奨励事業           | 捕獲頭数増に伴う捕獲報奨金の増               | 3,000  | 46,888  |    |
| バイオマス関連整備事業          | 飯石ストックヤード造成工事費の変更増            | 11,825 | 166,656 |    |
| 森林バイオマスエネルギー事業       | 木質チップボイラー燃焼灰に係る廃棄物処理費用        | 2,451  | 12,124  |    |
| 森林バイオマス推進事業補助金       | 林地残材活用促進に係る搬出補助の増（500 t）      | 1,500  | 6,500   |    |
| 林地崩壊防止事業             | 畑鶴地区林地崩壊防止事業                  | 600    | 10,000  |    |
| 明石緑が丘公園管理事業          | 乗用芝管理機の更新                     | 3,069  | 30,256  |    |
| 波多温泉管理事業             | 浴槽用循環濾過装置取替え工事                | 2,794  | 13,466  |    |
| 都市公園管理事業             | 大東公園施設修繕費の増                   | 300    | 3,272   |    |
| 宅地購入補助金              | 宅地購入補助金の増（10件分）               | 5,000  | 18,000  |    |
| 小学校教師用指導書・準拠教材整備事業   | 小学校教科書採択替えに伴う教師用教科書・指導書等の購入費等 | 42,234 | 42,234  | 新規 |
| 文化振興企画運営事業           | 雲南市創作市民演劇第10弾の開催に伴う補助金        | 1,000  | 9,700   |    |
| 菅谷たたら山内保存修理事業        | 三軒長屋保存修理工事費の追加分               | 25,000 | 75,010  |    |

## 議案の審査と結果

| 条例   | 採決結果 | 採決状況 |
|--|------|------|
| 雲南市交流センター条例の一部を改正する条例について                    | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市非常勤の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について          | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市長の選挙における選挙運動用ピラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例について | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市手数料徴収条例の一部を改正する条例について                     | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市児童クラブ条例の一部を改正する条例について                     | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市水道事業給水条例の一部を改正する条例について                    | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市旧学校施設条例の一部を改正する条例について                     | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市都市公園条例の一部を改正する条例について                      | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市図書館条例の一部を改正する条例について                       | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について        | 可決   | 賛成多数 |
| 雲南市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について            | 可決   | 賛成多数 |
| 雲南市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について                | 可決   | 全会一致 |

| 同意                                  | 採決結果 | 採決状況 |
|-------------------------------------|------|------|
| 雲南市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて       | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて        | 可決   | 全会一致 |
| 雲南市固定資産評価委員会委員の選任につき同意を求めることについて 3件 | 可決   | 全会一致 |

| 一般事件                 | 採決結果 | 採決状況 |
|----------------------|------|------|
| 公の施設の指定管理者の指定について 7件 | 可決   | 全会一致 |
| 和解及び損害賠償の額を定めることについて | 可決   | 全会一致 |

| 令和元年度補正予算                      | 採決結果 | 採決状況 |
|--------------------------------|------|------|
| 令和元年度雲南市一般会計補正予算（第3号）          | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）  | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）  | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市水道事業会計補正予算（第3号）        | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市工業用水道事業会計補正予算（第2号）     | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市病院事業会計補正予算（第2号）        | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市一般会計補正予算（第4号）          | 可決   | 賛成多数 |
| 令和元年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）  | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）  | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市水道事業会計補正予算（第4号）        | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市工業用水道事業会計補正予算（第3号）     | 可決   | 全会一致 |
| 令和元年度雲南市病院事業会計補正予算（第3号）        | 可決   | 全会一致 |

| 規約                     | 採決結果 | 採決状況 |
|------------------------|------|------|
| 雲南広域連合規約の一部を変更する規約について | 可決   | 全会一致 |

| 発議                       | 採決結果 | 採決状況 |
|--------------------------|------|------|
| 「少人数学級編制」に係る基準の堅持を求める意見書 | 可決   | 全会一致 |

## 「少人数学級編制」に係る基準の堅持を求める意見書

地域が持続可能であるためには、将来を担う人づくりこそが根幹で、人口減少社会にしっかり対応し、定住や移住促進のためには子育て支援と教育の充実こそ最も力を入れなければならない施策である。

現在、鳥根県では鳥根創生を推進するためのスクラップアンドビルドを行う中で、「少人数学級編制」に係る基準の見直しが進められているが、この事業は児童生徒一人ひとりによりきめ細かな指導ができることから、保護者や教職員から高い評価を得ており、また、教員の働き方改革にも資することから、継続していくべき事業である。

人づくりは、短期的に成果がでるものではなく、10年20年の地道な取り組みを要す。県のこの独自事業を一層拡充させていくことが将来に必ずや成果として現われると確信する。

よって、下記の理由により全国トップレベルである「少人数学級編制」に係る基準の堅持を強く求める。

### 記

#### 1. 少人数学級編制のメリット

- ①児童生徒一人ひとりにより目が行き届き、学習等におけるつまずきにきめ細かな指導・対応ができる。
- ②児童生徒と教職員とのコミュニケーションがより図られ、内面理解につながることから、問題行動やいじめ・不登校への未然防止にもなる。

#### 2. 見直しによるデメリット

- ①教職員の業務量と精神的負担の増加により、教育の質の低下が懸念され、また働き方改革にも逆行する。
- ②学力向上策の推進に齟齬をきたす。

#### 3. 拡充が検討されている「子ども医療費」や「放課後児童クラブ」などへの財源確保については、本事業のスクラップではなく県全体の事業見直しの中で行なわれるべきであること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月20日

鳥根県雲南市議会

(提出先) 鳥根県知事、鳥根県教育長

## 採 決 結 果 (議案及び請願陳情で賛否の分かれたもの)

議案の賛否状況です。議長は採決に加わりません。

〔○〕…賛成   〔●〕…反対   〔－〕…欠席

| 議 案 名                                   | 上代和美 | 中林孝 | 松林孝之 | 中村辰真 | 原祐二 | 矢壁正弘 | 白築俊幸 | 細木照子 | 佐藤隆司 | 藤原政文 | 西村雄一郎 | 土江良治 | 安井誉 | 細田実 | 藤原信宏 | 堀江真 | 堀江治之 | 小林真二 | 深田徳夫 | 周藤正志 | 採決結果 |    |
|---|------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|------|-----|-----|------|-----|------|------|------|------|------|----|
| 雲南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について | ●    | ○   | ○    | ○    | －   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 可決 |
| 雲南市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について       | ●    | ○   | ○    | ○    | －   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 可決 |
| 令和元年度雲南市一般会計補正予算(第4号)                   | ●    | ○   | ○    | ○    | －   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 可決 |

### (議案の審査)

本委員会に付託及び委託された10件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

### (条例等の審査状況)

雲南市交流センター条例の一部を改正する条例について

・久野交流センターの移転改築に伴い、地番の変更と使用料の一部を改定するものです。

公の施設の指定管理者の指定について「雲南市下布施農村体験施設(ホースセラピー施設)」  
・非公募による指定管理を継続するものであり、これまでの指定管理の運営状況を確認しました。

### (主な予算の審査状況)

令和元年度雲南市一般会計補正予算(第3号)

・公用車管理事業79万円は公用車事故の増による修繕費の増額です。  
当初予算のうち修繕費



下布施農村体験施設(ホースセラピー牧場)

として150万円を見込んでいたが、上半期における事故件数が9件となり、例年の下半期の件数を考慮して、増額するものです。議会から度々指摘しているにも関わらず、事故が減らないのはなぜか。対策は講じているのかとの問いに、職員への安全運転の周知はもとより、警察を呼んでの講習

等を開いているとの答弁でした。労働安全衛生法上からも安全管理を徹底し、具体策を講じるよう求めました。

・雲南市飯南町事務組合負担金(CATV事業)840万円は、大東中継所無停電電源供給器バッテリー更新事業負担金の追加、また、伝送路施設整備更新事業負担金の増額によるものです。市内伝送路施設は老朽化が進み、交換が必要な機器が

さらに増える可能性があるが、計画的に更新をするのかとの問いに、5年

を目途に更新が必要であることから計画を立てるとの答弁でした。

## 教育民生常任委員会報告

委員長 矢壁正弘

### (議案の審査)

本委員会に付託及び委託された16件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

### (条例等の審査状況)

雲南市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

・本条例改正は、住民票等のコンビニ交付事業という新たな市民サービスを開始を契機に、これまで未着手だった窓口手数料の改定と、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の改正により、手数料徴収条例の一部を改正するものです。窓口手数料は原則利用者が負担することから、窓口での証明書等の交付に伴う事務処理経費の算出

を行うとともに、他市との均衡性が配慮されています。

### (主な予算の審査状況)

令和元年度雲南市一般会計補正予算(第3号)

・文化振興企画運営事業100万円は、雲南市創作市民演劇第10弾の開催に伴う補助金です。さくら名所100選認定30周年を記念した、さくらにちなんだ演劇だが、企画書等は提出されているのかとの問いに、企画書は提出されている。脚本・演出等は亀尾先生で題名は決定していないが、さくらをテーマに考えられている。さくらは本市の重要施策であり趣旨は賛同できるとの答弁でした。また、任意団体が突然多

# 委員会報告



住民票等コンビニ交付サービスオープニングセレモニー

額の補助金を得られるのは普通ない。100万円の算出根拠はとの問いに、収支予算は入場料と補助金で300万円の事業費。市の補助要綱では予算の範囲内とされているが、3分の1とした。昨年は高校生から高齢者まで70名以上の参加があり、世代間交流もされていてキャリア教育の成果でもあり今回の補助を行うとの答弁でした。

## 令和元年度雲南市立病院事業会計補正予算（第2号）

・9月に2名の医師が退職されたが今後の対応はとの問いに、外科と整形外科の医師が退職された。整形外科の後任は決定している。外科の後任は決定していないが、現在4名の医師が在籍しており対応できるとの答弁でした。

## 産業建設常任委員会報告

委員長 原 祐二

### （議案の審査）

本委員会に付託及び委託された12件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

### （条例等の審査状況）

雲南市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

・本条例は、水道法第14条第1項に基づく「その他の供給条件」として、雲南市水道事業給水条例に督促手数料の額について

た。また、キャッシュフロー計算書で、資金増加額がマイナス5億円で資金期末残高が10億7,600万円となっているが令和2年度の資金計画は大丈夫かとの問いに、10億円の期末残高では決して楽な状況ではないが、医療収益の増や全体経費の削減を行い維持していくとの答弁でした。

規定するものです。

審査にあたっては、県内8市の給水条例に関する規定の有無及び手数料の額について説明を求めました。督促手数料については、督促の都度（督促・催促）請求されるのかとの問いに対し、初めての督促のみに手数料を請求するとの答弁でした。

### （主な予算の審査状況）

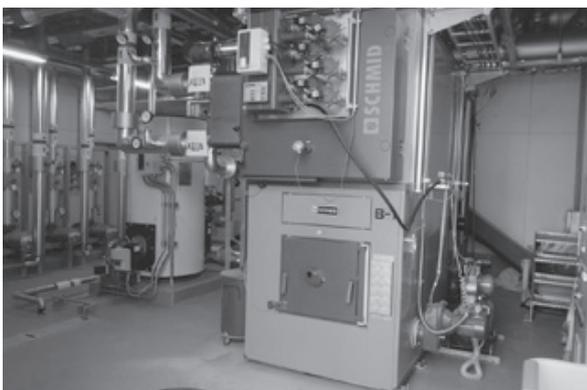
令和元年度雲南市一般会計補正予算（第3号）

・「森林バイオマスエネルギー事業」245万1千円は、木質チップボイラー燃焼灰の廃棄物処理に係る経費です。市内5カ所で木質チップボイラーが稼働しているが、産業廃棄物の経費が何故必要となったのかとの問いに対し、これまでは堆肥として活用していたが、土壌環境基準を上回る数値（六価クロム・ヒ素・セレン）が検出され、保健所からの指導を受けたためとの答弁でした。今後必要な経費として計上しなければならぬのかとの問いに対し、当面は必要だが土壌環境基準を下回れば循環利用を考えているとの答弁でした。

また、調査場所や方法についての問いから、各施設の燃焼灰について検査数値の提出を求めました。また土壌環境基準を上回る数値の原因解

明と発電経費の算出、先進地の状況を調査するよう求めました。

・「住宅リフォーム事業補助金」200万円及び「宅地購入補助金」500万円は、申請件数の増加によるものです。それぞれの事業の実績はとの問いに対し、住宅リフォーム事業補助金は143件、全体事業費3億400万円。宅地購入補助金は26件、購入事業費1億4,300万円との答弁でした。



木質チップボイラー

# 一般質問

基本的に本人提出の原稿をそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。

## 市内河川の洪水対策は十分か



堀江 治之

**問** 市内河川（斐伊川、三刀屋川、赤川）の洪水対策は十分か。

**答** 斐伊川は尾原ダム、放水路が完成し、整備効果が見られている。三刀屋川、赤川は斐伊川水系中流支川域河川整備計画に基づき整備が完了している。

**問** 河川の中にある寄洲、立ち木の除去について国、県へ要請活動の考えはないか。

**答** 樹木の除去、堆積砂

の除去について、国、県に対し、強く要請していく考えである。

**問** 防災の拠点施設である雲南市庁舎の浸水の危険性はないのか。

**答** 庁舎建設に際し、調査をし、時間雨量150ミリ、24時間雨量525ミリから浸水する結果となり、災害対策本部や電気、機械室等浸水時に重要部分、部屋は2階以上に配置し、機能を失わない構造にしている。

**問** 斐伊川水系河川整備計画による市内の堤防強化工事を早く実施することができないのか。

**答** 出来るだけ早く前倒ししてでも実施されるよう強く国へ要請する。

## 史跡遺跡・案内説明板の点検を



小林 眞二

**問** 清嵐荘の11月リニューアルオープンを期に、既存の旅館を含めた観光振興策を滞在型に大きく変更すべきでは。

**答** 湯村温泉・海潮温泉を含め年間約26万人が温泉を利用、市内観光地の魅力を大いに発信して宿泊につなげたい。

**問** 観光地における遺跡史跡案内・説明板などは整備点検しているのか。出雲国風土記に登場する川辺の古湯周辺・神原神社古墳説明等。

**答** 観光・文化的な面からも小まめに点検・修繕に努める。

**問** 行政主導での「マルシェリーズ」、中活事業の「コトリエット」の評価は。

**答** 年間のレジ通過者数は約70万人。従業員約100人で雇用の場として大きな役割を果たしている。7月開業以来レジ通過者数・月平均1万7,600人。人的経済的な成果は出ている。

**問** ホックに子会社化された「マルマン」の今後の営業は。

**答** 現状の契約を継続していくが、引き続き情報収集に努めていく。

## 千年に一度の災害に対応する防災計画を



矢壁 正弘

**問** 本市の防災計画は、昭和58年の山陰豪雨災害を基準にした百年に一度の災害に備えた計画だ。大型化する自然災害に対し、千年に一度の災害を想定した計画が必要では。

**答** 防災情報の5段階レベル化の運用を開始した。災害時にとるべき行動を防災円卓会議などで周知し、地域防災計画にも反映させていきたい。

**問** 近年、農機具による不注意や誤使用による事故が多い。いま一度安全講習や安全告知が必要だ。

**答** 昨年と今年、農機具による死亡事故が発生している。さまざまな機会を通じて注意喚起をした。

**問** 女性との対話の中で、妊娠中から子育てに至るまで、夫の協力は一番大切と聞いた。市内企業に支援を行い男性の育児休業を促進すべきでは。

**答** 国、県に助成制度がある。子育てに男性が参加しやすい雰囲気づくりや支援制度の周知・啓発を進めたい。

**問** 国はキッズゾーン設置の通達を发出了。本市の対応は。

**答** 県より通知を受けた上で具体的な対応に入る。

一般質問

企業団地分譲価格を安くすべき



周藤 正志

**問** 神原企業団地が間もなく完成するが、企業誘致の取り組み状況はどうか。

**答** 現地視察に来られた企業は5社ある。また地元企業で進出を考えておられるところもある。

**問** 分譲価格は、斐川の坪4万5千円より安く設定しなければならぬのではないか。

**答** 当初、坪4万円を目標としていたが、造成費用から4万6,200円とした。スマートICとの接続の有利性から、分譲可能と判断している。

**問** JFLの松江シティFCがJリーグ参入を目指してユースチームを設立することになり、雲南市にその拠点となつてほ

しい旨要請があった。調査検討され、大東高校が受け入れ先に、練習グラウンドは大東ふれあい運動場とする市の方向性が示された。しかし、経営基盤が弱い弱であることや現在のJFLでの成績、サッカー場整備費が2億円と多額であることなど総合的に勘案すると、慎重に判断すべきである。

**答** 指摘の点などを踏まえ、慎重に検討する。

観光振興のビジョンと戦略を問う



白築 俊幸

**問** 観光は地域振興にとつても重要な総合産業であるが、松江や出雲のようにメジャーな観光地を持たない本市における観光振興のビジョンと戦略を問う。

**答** 基本的には雲南市を訪れていただき、楽しんでいただく、そして消費していただくことだと思ふ。具体的には、これから整備していく宿泊施設も生かしながら、広域連携によるインバウンド対策の推進、道の駅の活用、神話やたたら文化、あるいは自然など地域資源の活用により観光メニューを充実させていくことである。

**問** 昨今、もてはやされている「おもてなし」の心は、単なる固定した接待のパッケージやマニュアルではないと思うがどうか。

**答** 観光客へのおもてなしは非常に重要であり、それが顧客満足度の向上につながると思う。言い換えれば感動を与えることであり、お客様のさまざまなニーズに対し、きめ細かな対応をすることにより、おもてなしの向上につなげていきたい。



中国地方随一の名瀑「龍頭が滝」

高齢化社会への行政対応



細木 照子

**問** いま日本では概ね3人に1人は65歳以上の高齢者である。高齢になると誰しも視力、聴力、運動神経など、いろいろな身体機能が老化し弱まる。視力関係では、文書の文

字は、日刊新聞の記事の文字を下回らない配慮が欲しい。市報などでも小さい文字があるし、また紙に色づけをして黒文字印刷は、くすんで大変読みづらい。聴力関係では会議場等、広さと出席者の年齢あんばいを配慮されたい。交流センター等のこもって聞こえる音響設備は早急に改善を。

**答** 運動神経関係では高齢になると首が回りにくくなるので、駐車場での区画線は必ず標示し、楕円形の区画線を取り入れて欲しい。もう一つ、カタカナ言葉と英語の頭文字の組み合わせは全然解らない。配慮がほしい。

**答** 今年度も指摘内容に考慮するよう職員に周知した。今後さらにわかりやすい情報の表現に努めたい。

※この他、地球温暖化対策、大雨対策、学校のいじめ、路面標示、道路照明等、7項目の質問。

林業は産業といえるか



中林 孝

**問** 林業は産業と言えるか。成長産業となるか。

**答** 林業の振興イコール地域づくりと言える。市が森林所有者と森林組合と調整を行い産業として育成する。成長産業とするためには本市だけでなく、斐伊川流域全体として取り組まねばならない。

**問** 森林組合の資料によると1haあたり約百万円の赤字となる。新植時の補助はもとより全工程にわたる補助が必要だ。

**答** 収支を改善するにはまとまった森林面積が必要だ。本市だけでなく斐伊川流域全体の問題として取り組むことや高性能林業機械の導入が必要だ。  
**問** 畜産農家が頑張っているのに共進会の成績が



鳥根県種畜共進会

振るわない。活性化に向けた基本方針を伺う。

**答** キャトルステーションや堆肥センターを活用して繁殖和牛、乳用牛の頭数拡大を進める。畜産農家の所得向上と担い手の育成に努める。

**問** 畜産業振興に向け、行政の方針や戦略が欠如しているのではないか。  
**答** 肉質強化のためゲノミック評価も加えて畜産振興を進める。

女性政策推進課を設置しては



細田 実

**問** 国も参加して原子力防災訓練が行われたが、訓練の成果と課題について伺う。実効性ある避難計画の確立は課題があると思うがどうか。

**答** 成果と課題については現在、国も一緒に取りまとめている最中だ。今後も国や県内自治体等と連携し避難対策の検討を進め実効性の向上に努めたい。

**問** 雲南市の昨年の人口は764人の減である。人口の減少率では206%と県内8市で一番の減少率、県内19市町村でも4番目に高い減少率が現状だ。人口の社会増、子育て世代が住みよ

い、女性が住みやすい政策と説明されているが、女性

政策推進課を設置し、取り組む必要があるのではないか。

**答** 各部署で女性の住みやすさを意識して施策を展開していくことが、人口の社会増への取り組みの有効性を高めると考えている。多くの事業が複数の部局で横断的に実施されている状況であるので女性政策推進の組織な

少人数学級編制見直しの撤回を



上代 和美

**問** 鳥根創生計画（R2～R6年度）の事務事業見直しの中で、国基準を超える全国でもトップレベルの鳥根県の少人数学級編制を見直すことがあ

げられている。県は、1

学級あたりの定数を小学1年生、2年生で現行30人を32人に、小学3年生から6年生と中学2年生3年生で現行35人を38人に、中学1年生は中1ギャップに対応するため現行35人を維持する見直し案を提示している。現場からは、「心身とも大変な子供の対応、問題行動をおこす子供や保護者対応も大変。自分が元気でないと対応できない。今の少人数学級編制を崩さないでほしい」との切実な声があがっている。県提案に対する市長、教育長の見解を伺う。

**答** 鳥根方式によって教育の質の向上がもたらされている。是非とも堅持していただきたい（市長）

鳥根方式でやっていたおかげで、きめ細かな指導、いじめの未然防止、支援の必要な子供たちへ手厚い指導も可能であった。現在の基準の維持を要望している。（教育長）

一般質問

未就学児から地域の繋がりを



原 祐二

**問** 居住する町の幼稚園・こども園・保育所への入所できる可能率は。

**答** 大東110%、加茂116%、木次97%、三刀屋79%、吉田222%、掛合125%であり、100%未満は木次及び三刀屋の2町である。

**問** 入所できる可能率が低い居住地の要因は。

**答** 就学前の児童数に対し、施設の定員が不足しているためである。

**問** 居住する町の保育施設への入所が難しい、三刀屋町では定員改正が必要だ。空き教室のある、三刀屋こども園の保育利用の定数を改正すべきではないか。

**答** 定員改正は考えていないが、こども園の1号

児と2号児の定員割合については、今後の状況を勘案し判断する。

**問** 未就学児から同じ施設に通い、共に育っていくことは、子供だけでなく、保護者も含め地域の繋がりを築くこととなる。持続可能な地域社会には、コミュニティの永続性が欠かせないのでは。

**答** 理想はそうだが、現実には問題がある。

体育館の現状は不満と諦めを助長



佐藤 隆司

**問** スポーツ庁委託事業で市内体育館4施設の個別施設調査がされたがその調査結果は。

大東体育文化センター  
昭和40年（築54年）  
木次体育館  
昭和42年（築52年）

掛合体育館  
昭和49年（築45年）  
斐伊体育館  
昭和62年（築32年）

**答** 4館は専門業者の調査を行った。斐伊体育館を除き、耐震改修工事、屋根・屋上・外壁の修繕が必要と指摘されている。

**問** 体育施設のボールやネットなど備品の更新や維持管理の予算は十分か。

**答** 修繕等その都度協議し、優先順位をつけて対応している。

**問** 新しい公の施設の建設や建設予定の水道局庁舎や食の幸発信推進の施設建設計画が多額の費用で取り組まれ、身近な親しまれる施設の老朽化対応が後回しにされている現状は、市民の皆さんに不満と諦めを助長しているのではないか。

**答** 公共施設の整備は第2次総合計画に基づき、財政計画と実施計画に示し取り組んでおり後回しになってはいない。

「確かな学力」とは何か



藤原 政文

**問** 学校改革が進む千代田区立麹町中学校長の講演が本市であった。狙いはどこにあったのか。

**答** 本市が目指す「自立した社会性のある大人の育成」と「学校は、人が社会の中でよりよく生きて行けるように育む場」との講師の考え方に共通する部分があると考えた。

**問** 「確かな学力」とは何か。

**答** 予測困難で変化の激しい社会にあっても、主体的に課題を見つけ、多様な人々と協働しながらよりよく問題を解決した新しい新たな価値を生み出していく力であり、まさしく、社会で生きていくための力である。

**問** 10月に本市で開催さ



本市で開催された ICT 教育全国大会

れたICT教育の全国大会の評価と課題は。

**答** 参加者から「提案性のある先進的な授業だった」、「複式教育における新たな可能性の発見があった」などの声があった。児童生徒が主体的に思考、判断、表現しながら、より深く学び合うことができ、学ぶ楽しさや達成感を味わうことができた。今後は、全市の環境整備が課題。

防災時の通信確保  
に無線の活用を



中村 辰眞

**問** 防災ラジオは衛星を利用して、情報伝達の面で安心感がある。ただ、単方向の通信のため、発信された情報を聞くことには特化しているが孤立した地域の情報収集には役立たない。双方向の通信が必要と考える。それができるものとして無線がある。無線についての活用についての考えを伺う。

**答** 本庁舎と総合センターとの間には、可搬型の衛星携帯電話を配備している。双方向の通信手段を一定程度確保できていると考える。ただ、被災状況を把握するという観点から、現地と現地対策本部となる総合センター間の通信手段等々も

必要かと考えているので、今後の検討課題としたい。

**問** 木次線のトロッコ列車は日本一乗りにくいといわれる。日本一新しい国民宿舎清嵐荘に泊まって、日本一乗りにくいトロッコ列車に乗ろうという企画を考えてはどうか。

子どもを取巻く環境  
と災害への備えを

松林 孝之

**問** 子ども達を取り巻く社会環境は激変し、これまでの常識では測れない。SNS等によるトラブルは学校での情報収集には限界があり、家庭こそ重要。親教育の場が必要で

**答** 県の健康とメディア専門家派遣事業がある。親子参加の研修が可能であり活用する。

**問** 国は小5〜中3全生徒にパソコンを配備する方針を示した。クラウドを活用した新教育システムも開発され、教員の働き方改革にも繋がる。導入を検討してはどうか。



「未来の教室」実証事業

**問** 今夏の台風では河川の氾濫が相次いだ。治水行政は平等原則であるが、

人口集積地への氾濫は甚大な被害となる。改修には莫大な予算が伴い市単独での実現は難しい。県や国に働きかけ、災害に強いまちを実現すべき。

東部四市議会  
議員交流会

会の実現を目指して、安来第一病院のほか介護保険サービスマスク、障がい福祉サービスマスクなど保健・医療・福祉を一体的に提供されています。今年10月には、新たにヘルスケアセンターを開設され、市民の健康増進にも力を入れておられます。「健康長寿・生涯現役」をまちづくりの柱にすえていく本市も、大いに参考にするべきと思いました。

11月22日に安来市において令和元年度島根県東部四市議会議員交流会が開催され、19名の議員が参加しました。

研修会では、まず社会医療法人「昌林会」の経営と取り組みについて、理事長や担当者からお話を伺いました。昌林会は、安心して暮らせる地域社

次いで、島根大学医学部呼吸器外科副診療科長・漢方外来の宮本信宏氏から「未病の改善と健康寿命の延伸について」の講演を聴きました。最近よく目にする「フレイル」や「未病」に関する内容で、専門的知識をこれまでの経験をおりませ、楽しくわかりやすく話され、勉強になりました。

※「フレイル（虚弱化）」：高齢期に要介護状態にいく過程のこと

※「未病」：健康と病気の間を連続的に変化する状態のこと

## 議会運営委員会視察報告

### 愛知県石倉市議会

#### 「議会基本条例を礎にした議会改革」

10月8日、愛知県の石倉市議会を視察しました。当議会は、地方自治の本旨である「団体自治」と「住民自治」の発展を旗印に、平成23年に議会基本条例を施行。その後、全議員で構成する議会改革特別委員会において基本条例に基づく自主的な改革を進め、議会が担うべき様々な機能の充実に努められています。議員政治倫理条例、市議会における災害発生時等の活動要綱を制定。傍聴規則を改正し傍聴人の事前手続の廃止や撮影の自由化。平成30年度には、市民からの要望・意見を集める「議会サポーター制度」を導入。市民との「ふれあいトーク」も頻繁に開催されています。

研修では、委員会による政策提言や災害時のB



CP（事業継続計画）の取組み、議会中継の配信などについて説明を受けました。基本条例を常に検証、改革を繰り返し、市民と共に議会の活性化を図る姿勢に感心しました。雲南市議会も、一層の広報広聴活動や施策の提言に力を注ぎ、改革を通じて市民が共にまちづくりに参加できる「開かれた議会」を創るために不断の努力が必要です。

## 議会広報広聴特別委員会視察報告

### 山口県下関市議会・山陽小野田市議会

本委員会は、かねてより市民の皆様に対する広報広聴の機会を増やすべきと考え、「市民と語るう会」などさまざまな取り組みを行ってきました。現在、雲南市議会は本会議の一部が雲南夢ネットで放映されています。しかし、放映時間が限られ視聴者にとっては不便

な点があります。

そこで議会中継のインターネット配信で10年以上の実績がある山口県下関市議会と山陽小野田市議会を視察しました。両市とも現在、ユーチューブを利用してライブ中継及び録画を放映しています。

この取り組みについて

は市民も議員も概ね肯定的に捉えられていました。メリットとして、

- ① いつでも視聴可能
- ② 安価で提供可能

一方、デメリットは①放映途中でCMが入る②ユーチューブ側から一方的に利用拒絶された等がありました。本委員会としては、インターネット配信の実現に向けて放映内容、方法、費用等を総合的に検討してまいります。



山陽小野田市の動画配信の研修



下関市議会 本会議場にて

# 島根原子力発電対策特別委員会視察報告

青森県六ヶ所村

## 日本原燃施設 原子燃料サイクル施設見学

本委員会は、11月12日から13日に青森県六ヶ所村日本原燃の原子燃料サイクル施設を視察しました。

見学したのは、①ウラン濃縮工場②低レベル放射性廃棄物埋設センター③再処理工場④高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの4施設で、厳しいセキュリティチェックのもとでの視察でした。

使用済み核燃料の96%を再処理し、新たな燃料（ウラン酸化物、ウランプルトニウム混合酸化物）にする再処理工場は、1993年着工以来、稼動されています。現在、新規制基準へ適合するための事業変更許可申請中で、2021年度上期の竣工が予定されています。1995年操業開始された高レベル放射性廃棄

物貯蔵管理センターは使用済み核燃料を処理したガラス固化体を貯蔵管理する施設ですが、あくまでも中間貯蔵（30～50年）施設であり、最終処分施設ではありません。

最終処分施設が決まらない現状では、貯蔵期間や施設の残容量が少なくなる問題が迫ってくると考えられます。



PR館から全景を望む

## 議会改革について

9月定例会の一般質問について、市民の皆様から大変厳しいご批判やご意見をいただきました。議会全体として重く受けとめ、反省しなければならぬことから、議会運営委員会で課題や問題点を洗い出し、改善策を議論してきました。

議会の円滑な運営を図り、市民の信頼と負託に応えるために左記のことについて会議規則に基づき全議員が遵守することを確認しました。

記

1. 質問は通告した順序のとおり行うこと。変更する場合は議長に申し出ること。（通告した順序が守られていなかったことから）
2. 通告内容から逸脱した質問をしないこと。（全く関連のない質問があったことから）

3. 通告締め切り後の質問は認めない。（締め切り後に追加したものがあつたことから）
4. 第三者を誹謗中傷するような発言は厳に慎むこと。

5. 反問権行使のルールを守ること。（ルールどおりに行われなかったことから）
6. 質問および答弁時間はトータル60分となるよう努めること。（2時間近く要したものがあつたことから）

7. 質問は「議員必携」に則つた内容に努めること。

※一般質問の通告：

一般質問は行財政全般にわたる議員主導による政策論議で議員も執行部も十分な準備が必要なことから通告制としています。

議員は質問項目と要旨を具体的に文書でもって決められた期間内に議長に通告しなければならぬことになっていきます。

## 周藤強議員追悼



周藤強議員は、去る12月18日に逝去されました。

平成7年4月に木次町議会議員に当選されて以来、今日までの約25年間在籍されました。雲南市議会においては、副議長、議会運営委員会委員長、尾原ダム対策特別委員会委員長を歴任されました。心からご冥福をお祈りします。



# 中学生が本会議を傍聴

12月9日、10日に木次中学校の3年生が一般質問を傍聴しました。生徒の感想文を一部紹介します。(原文そのまま)



## 原 美月さん

短い時間だったが、雲南市について少しかったが知る事ができたと思う。私達の生活の身近にある、斐伊川、尾原ダムについての話があった。難しい話で分からないところも多かったが、集中して聴けたので良かった。最近、台風の影響が全国で問題になっている。避難所に病気だから、体が不自由だからから、ペットがいるからと色々な理由で避難ができない人が多くいる問題があがっていた。災害ゴミでは、災害ゴミを集めるところが少なく、遠いという問題があがっていた。島根県にも台風が来たら、島根県でも同じ問題が生まれると思う。問

題が生まれないように台風が来てからでは遅いので、前もって対策をしっかりととしていてほしいなと思った。

## 西村恒太郎さん

市議会は国会と違って平和だなあと感じました。それが良い議論につながっているし、反対に追求が少し弱いところもあるのかなあと感じました。僕は、もっともっとんだ質問があっても良かったのではないかと思いました。また、若手の議員の方や、女性の方が少なかったのも印象にのこりました。そういった方を増やすために給料を上げたり、子どもをつれても来れるようにしたりと工夫していければいい

と思いました。

## 渡部 巴菜さん

今日は初めて議会を傍聴しました。雲南夢ネットで見えた事はあつたけれど、実際に入ってみると迫力がありました。大きなモニターがあつたり、議員さんがタブレットを操作しながら聞いておられて驚きました。議会の内容では、雲南市が抱えている問題点や取り組んでいること、方針などを知ることができました。意外だったのが、議会中の議員さん達でも、どよめきや笑い声があつたことがあつた事です。もっと肃々と進んでいくイメージがあつたので、「エネルギー消費」の説明の時や質問の時間びつたり質問者の方が終えられた時に一瞬やわらかい空気になってほつとしました。また、一般の方も傍聴に来ておられて、雲南市の動きに関心を持って

いる方がたくさんおられると分かりました。私ももっと関心を持っていきたいと思ひます。

## 田部 紗理さん

ケーブルテレビで雲南市議会を見たことがあつたけど、傍聴席や、全体を見ることはなかつたので、しっかりと見ることが出来て良かったです。議員の方は、雲南市、市民の方などについて考え一つ一つの発言に責任をもつておられました。はきはきと話しておられました。その姿がとても頼もしくてすごいなと思ひました。私達が安心して暮らせるのは、このように定例会を開いて、じっくりと話し合いをして雲南市を良い方向に引っ張つてくださる方々の支えがあるということに感謝をして生活していきたいです。少しの時間だったけれど、どのように話し合つておられるのか

しっかりと知ることが出来たので良かったです。とても緊張感がありました。なのでこれからは何気なく過ごすのではなく、学校に行けることに感謝して雲南市のことをもっと知つて、地域のイベントなどに積極的に参加して恩返しをしていきたいです。



12月定例会の一般質問

# 議会と語るう会

開かれた市議会を目標として、「議会と語るう会」を11月7日から15日まで開催しました。

市内5会場で124名の参加があり、多くのご意見をいただきました。その一部を会場別に紹介します。

## （大東会場）

・市議会が夢ネットドラマで放映され、夜再放送されるが、見過ごすと見られない。放映を一回ではなく、せめて二回位やってみたら市議会の状況が市民の皆さんに分かりやすくなるのではないかと思う。

## （加茂会場）

・加茂町には以前3名の保健師さんがいた。それが1名になり、今本庁に集約されている。保健師は健康管理をし、3名の頃は十分な訪問活動をした。高齢化少子化ということもあるが、本庁舎に集約されているメリットは何か、何故そのようになったのか疑問である。

## （木次会場）

・現在、西日登小学校には33名の児童がいる。1

歳児から5歳児までが31名いるが地元の幼稚園に通っているのは2名である。小学校入学の際も他の地域に友達ができているので、地元小学校に帰ってきてくれるのか不安もある。

・人口対策について議会としてどのように取り組んでいるか。校区の撤廃はできないか。出雲市の今市小学校では選択校区をやっているようだ。他市が思いつかない企画も考えてみては。



木次会場（西日登）

## （三刀屋会場）

・ゴミのことだが、高齢化と言われる今から、分別が良くなることはないと思う。高齢になるとごちゃ混ぜで出したい。その方向にむかえないのか。

か。

・ゴミの分別の啓発をされているのか、機械を直すことも大切だが、高額である。草の根を張るような仕事だが、そういった啓発も必要ではないか。

・全国的に事件・事故がおこる。そこで承諾がとれたところには、集落に1つは防犯カメラの設置を考えてもらいたい。

## （掛合会場）

・掛合の大志戸地域は携帯電話・スマホの電波が届かない。光ケーブルもない。不自由さをなくしてほしいという切実な問題として議会でも取り上げてほしい。

・波多の診療所を改修してと意見が出ていると思うが、それよりも、医療機関を結ぶ輸送手段を考えてもらいたい。飯南病院へ市町の枠を超えて連携を。

・市民バスの地域路線（波多や人間など）と広域路線の接続時間を考えてほしい。合併しても同じ市民という感情が湧いてこない。雲南市全体がよくなるようにして。

## 編集後記

明けましておめでとうございませう。

今年の干支は庚子（かのえね）、60年前の1960年は、ローマオリンピック。マラソンで裸足で走って金メダルを取ったエチオピアのアベベ選手。政治では、アメリカでジョン・F・ケネディが大統領に就任。日本では池田内閣が誕生し、所得倍増計画を発表。野球では川上哲治さんが巨人の監督に就任、そして、

あの日米安保条約改定の年でもありました。

庚子の2文字は大変相性の良い組み合わせで、次の波を作り始める年と言われており、是非そうなることを願っています。昨年は、地球温暖化の影響か、台風も大型化し全国各地で大変な災害に見舞われました。被災された地域の一日も早い復旧・復興を願うばかりです。本年が皆様方そして雲南市にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。



## 議会広報広聴特別委員会

|      |      |
|------|------|
| 委員長  | 中村辰真 |
| 副委員長 | 中林孝  |
| 委員   | 上代和美 |
|      | 白築俊幸 |
|      | 細木照子 |
|      | 藤原政文 |
|      | 藤原信宏 |
|      | 周藤正志 |

## 請願・陳情の提出について

3月定例会の請願・陳情は2月26日17時まで、議会事務局へ直接提出して下さい。

上記の受付期間を過ぎた請願・陳情は、次回定例会での審査となります。